

# 平成28年度第1回神岡地域協議会会議録

平成28年 4月25日

神岡地域協議会

## 平成28年度第1回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■副市長あいさつ	2
■職員紹介	4
■会議録署名委員の指名	4
■協議	4
地域枠予算活用事業について	4
■その他	7
①平成28年度 神岡支所主要事業の概要について	7
②「がんばる集落応援事業」について	8
③「だいせんまちづくり基本条例」について	8
■閉会	8
■署名	9

# 平成28年度 第1回神岡地域協議会 会議録

---

■日 時：平成28年4月25日（月） 午後3時30時

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員：11名

鈴木和栄、石山美恵子、今野公行、齊藤恵子、  
齊藤 劦、齊藤博伸、齊藤由紀、佐々木康浩  
鈴木幸一、鈴木美保、中村淑子

■欠席委員：5名

伊藤公仁、工藤昌子、黒川 茂、齊藤 亘、  
佐々木 徹

■出席職員：8名

久米正雄（大仙市副市長）  
伊藤禎祐（神岡支所長）  
石山尚英（市民サービス課長）  
藤井一博（農林建設課長）  
杉澤加代子（神岡中央公民館長代理）  
高橋正人（まちづくり課長）  
富樫一哉（地域活性化推進室 副主幹）  
今野洋樹（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 副市長あいさつ
  - 4 職員紹介
  - 5 会議録署名委員の指名
  - 6 案 件  
地域枠予算活用事業について【協議】
  - 7 そ の 他
    - ①平成28年度 神岡支所主要事業の概要について  
（地域活性化推進室・市民サービス課・農林建設課・神岡中央公民館）
    - ②「がんばる集落応援事業」について（企画部まちづくり課）
    - ③「だいせんまちづくり基本条例」について
  - 8 閉 会
-

(午後 3 時 3 0 分 開会)

### ○石山市民サービス課長 (以下「市民サービス課長」と表記)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。  
ただ今から平成 28 年度第 1 回地域協議会を始めさせていただきます。  
はじめに鈴木会長よりごあいさつをいただきます。

### ○鈴木神岡地域協議会会長 (以下「会長」と表記)

皆さんこんにちは。今日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。桜も満開で早くも散り始めたところもあるようです。昨日、ささくら公園に行きまして、八分咲きくらいでしたので、ぜひ観賞しに行っていたきたいと思っております。

4 月 17 日に非常に強い風が吹きまして、地域内でも農業被害がございました。昨日と一昨日が米の種まき作業のピークだったと思っておりますが、強風被害の影響で、ビニールハウスの資材が手に入りにくいそうです。

今日は、第 1 回目の地域協議会ということで、久米副市長はじめ本庁からもおいでくださいまして、ありがとうございます。第 1 回目ということで、ぜひ活発なご意見を期待しております。それでは、今日は、よろしく申し上げます。

### ○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、本日、本協議会に出席いただいております久米副市長より、皆様にごあいさつを申し上げます。

### ○久米副市長 (以下「副市長」と表記)

副市長の久米でございます。本日は、ご多忙にもかかわらず「平成 28 年度神岡地域協議会」にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

皆様には、市民と行政との協働によるまちづくりの推進の核として、地域課題を解決する仕組みづくりや、地域枠予算の活用、各種計画への意見、施策・事業に係る提言の取りまとめなど、地域の特色を活かした活発な活動を展開していただき、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

また、昨年度は「地域協議会」並びに「地域枠予算」について、制度創設から一定の節目を迎えたことから、委員の皆様からたくさんのご意見をいただくとともに、様々な角度から制度の検証を行い、地域協議会の運営や地域住民への周知方法、地域枠予算運用に係るガイドラインの改正など、深く掘り下げて見直しを行っていただいたところであります。重ねて御礼申し上げます。

さて、大仙市では、平成 18 年 3 月に、地方分権時代にふさわしい「市民と協働のまちづくり」を市政運営の基本方針とした「大仙市総合計画基本構想」を策定し、本計画のもと子育て・教育、医療・福祉、産業、防災など喫緊の課題に取り組んでまいりました。

昨年度をもってこの計画期間が終了したことから、この度、平成 28 年度から始まる 10 年間の重点的な取り組みやまちづくりの基本を明らかにした、市の新たな羅針盤となる「第 2 次大仙市総合計画」を策定したところであります。

この総合計画では、合併からこれまでの取り組みを総括した形で、「生き生きと生活し働くことのできる活力と創造にみちたまち」、「ともに助け合い支え合う安全・安心のまち」、「豊かな人材と生活環境が整った魅力あるまち」の3つを基本理念としております。

この総合計画の策定にあわせ、地域協議会の皆様からご協力をいただきながら、総合計画の地域版となる「地域振興計画」も策定いたしております。この計画では、10年先を見据えた「地域の目指すべき姿」とそれを実現するための具体的な取り組みが示されております。

また、人口減少・超高齢社会の対策について基本的方向と具体的な施策をまとめた「大仙市人口ビジョン」及び「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、総合計画の策定にあわせて策定しております。

今後、市が進むべき重要な道筋となるこれら計画のもと、市民目線に立った実効性のある市政の運営にあたってまいりたいと考えております。

中でも、昨今の重要課題となっております「人口減少・少子高齢化対策」につきましては、全庁体制で取り組まなければいけない政策課題となっております。市の組織体制におきましても、企画部総合政策課内に「人口対策班」を新設し、各課で行っている施策の連携や調整、検証などの総合的な舵取り役を担うほか、課題解決に向けた新たな施策等の検討を行っていくことにしております。

また、同じく企画部のまちづくり課に「だいせんライフ促進班」を新設し、豊富な地域資源を活用したまちづくりを進めていくとともに、本市の魅力を積極的に情報発信し、若者の定住や移住の促進などをこれまで以上に取り組んでまいります。この「だいせんライフ促進班」では、移住・定住に関する窓口を一本化しながら、首都圏ふるさと会をはじめ、県が首都圏に設置している相談窓口などとの連携を図り、お試し移住や空き家バンクの活用周知など、より密度の高い情報発信や情報収集に努めてまいりたいと考えております。

また、昨年度は、新市誕生から10年という節目にあたり、これまでの「市民と行政との協働」の成果を土台に、市民が主役のまちづくりをさらに進めるためのルールを定めることを目的とした、「だいせんまちづくり基本条例」を制定したところであります。この条例は、少子高齢化や人口減少による地域社会の様々な問題が顕在化する中で、これからのまちづくりにはこれまで以上に市民の知恵と力が必要になるという認識のもと策定したものであります。今後、一定の周知期間を経まして、平成28年10月1日から施行する予定で準備を進めているところであります。

また、ここ神岡地域の主な取り組みについてお話ししますと、旧幼稚園跡地に新築しました神岡児童クラブが四月一日から供用を開始し、定員がこれまでより25人増の70人となり、現在63人の児童が利用しております。

「道の駅かみおか」につきましては、今年6月でオープン20周年を迎え、6月25日、26日の両日、記念イベントを実施いたします。

公共下水道整備事業につきましては、新規事業として神ヶ岡橋、駅通、荒屋地区までの実施設計業務と、継続事業として大坪地区、宮田地区の工事を進めてまいります。

地域活性化推進室で進めております「地域の魅力再発見事業」につきましては、平成29年度開催の全国500歳野球大会PR用DVDの制作に向け、着手しております。

以上、今年度の取り組みなどについてお話をさせていただきました。

大仙市では、今後とも、こうした取り組みをはじめ、本市の発展・飛躍につながるような施策を展開するとともに、「市民と行政との協働」のもと、市民が誇りと責任を持って活躍できるまちづくりを引き続き進めてまいりますので、委員の皆様には、これまで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の協議会が実りあるものとなり、地域発展に資する契機となりますことを ご期待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます、あいさついたします。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### ○市民サービス課長

続きまして、本日出席している職員を伊藤支所長よりご紹介いたします。

#### ○伊藤支所長

【出席している本庁及び神岡支所職員を紹介】

#### ○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例8条4項の規定に基づきまして、鈴木会長をお願いいたします。

#### ○会長

はい。それでは会議を始めたいと思います。本日、伊藤公仁委員、工藤昌子委員、黒川 茂委員、齊藤 亘委員、佐々木徹委員より欠席の届けが出席されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、12番佐々木康浩委員と14番鈴木幸一委員をお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに地域枠予算活用事業についてであります。事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）

【地域枠予算活用事業について、配布資料No. 1に基づき説明】

#### ○会長

それでは、資料 No. 1 の4事業について、1件ずつ協議していきたいと思います。はじめに、1番の「さくらの会」による「地域ボランティア活動育成事業」について、皆さんからご意見・ご質問等はございませんか。

この会員は何名くらいでしょうか。

#### ○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）

はい。報告いただいた今年度の会員数ですが、52名いらっしゃいます。

説明の補足になりますが、資料No. 1-1、6の年度収支予算書に記載されております会費でございますが、一人当たり100円を徴収しております、ここでの内訳が

55名となっております。実際の会員の人数と収支予算書の会員数とで差が生じておりますが、新規の会員が入会することを想定して、予算上で55名としているそうです。さらに、保険料の部分でございますが、予算額5,400円でボランティア保険で90円×延べ60名分と記載されております。この60名につきましては、さくらの会は春と秋に2回程、桜の剪定作業を実施しております、その都度保険に加入しております。ついては、春作業30名と秋作業30名の参加を見込んで、一人当たり90円のボランティア保険に加入するという事で説明を受けております。

## ○会長

委員の皆さんから、この件に関して質問はありませんか。

継続事業でもありますので、質問がなければ次の2番、神岡愛育会声かけ活動事業について質問はございませんか。

この件に関して、収支予算書に食糧費という項目がありますが、会議のお茶代のようなのです。その場合は、食糧費という名称で正しいでしょうか。

## ○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）

食糧費についてですが、以前3月に開催しました第6回の地域協議会の中で、皆様に資料を配布しておりますが、平成28年4月改正分の地域枠予算の運用に係るガイドラインに記載されております。その中で、支出科目の中に需用費ということで食糧費が記載されております。補助金の交付申請額に占める割合が10分の1以下であることということで認められております。そのため、2万円を計上しております。

## ○会長

分かりました。この件に関して皆さんから質問はありませんか。

この愛育会という組織は、大仙市では神岡地域だけですか。

## ○石山 美恵子委員

はい。神岡地域だけです。

## ○会長

かつては、どの地域にもあったのでしょうか。

## ○石山 美恵子委員

私が知る限りでは、旧神岡町時代からありまして、大仙市内では、神岡地域だけです。

## ○会長

他に質問はありませんか。なければ次に進んでもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

**○会長**

はい。それでは3番の神岡地域自治会連合会組織強化事業について、ご意見等ございますか。

齊藤委員。何か補足説明はありませんか。

**○齊藤 功委員**

補足説明は特にありません。42年間続いている組織ですので、何卒よろしく願いいたします。

**○会長**

特に質問がなければ次の4番。神岡地域花壇連絡協議会の3地域整備事業については、今年から組織体制が変わったという説明でした。何か質問はありませんか。

**○齊藤 功委員**

これまでご尽力いただいた進藤さんが関わらなくなったということですが、旧北神小学校のふれあい花壇については、今後どなたから整備していただけるのでしょうか。

**○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）**

これまででもふれあい花壇については、平和中学校から受け持っていております。これまで、進藤さんから学校との連絡調整と花苗の手配をお願いしておりました。4月に進藤さんと小中学校の3者で相談する機会があり、今後は実際に実務を担当する小中学校から申請することになりました。

**○齊藤 功委員**

花壇の水やりですが、進藤さんが大変ご苦労されておりました。今後は、どのように水やりをしていく予定ですか。

**○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）**

花壇の水やりについても、平和中学校から担当していただくこととなります。今年度、平和中学校に赴任された技術の先生からエンジンポンプの購入について提案があり、今回の申請内容に含まれております。音楽交流館の水道を利用して、離れた場所にあるふれあい花壇に散水する場合の水圧の低下を補うものです。

**○会長**

これまでご尽力いただいた進藤さん、そして今後管理をお願いする平和中学校には大変申し訳ないと感じます。以前は、近隣の集落や老人クラブから協力をいただいておりますが、高齢化の影響で現在は参加できない状況です。われわれ地域協議会として、今後の管理体制について考える必要がありますね。

その他に質問はありませんか。なければ次に進んでもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

**○会長**

ありがとうございました。資料No. 1 のⅢ型事業の協議は以上とします。  
続いて、Ⅰ型事業について協議いたします。事務局から説明をお願いします。

**○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）**

【地域枠予算活用事業（Ⅰ型事業）について、配布資料No. 2 基づき説明】

**○会長**

それでは、5 件のⅠ型事業について、一括で協議いたします。皆さんからご意見・ご質問等はございませんか。

**○齊藤 功委員**

質問ではございませんが、神岡球場周辺の桜の整備についてですが、昨年剪定作業を実施していただいた駐車場周辺の桜が、今年は大変きれいな桜が咲きました。誠にありがとうございます。今年も隣接する駐車場の桜の剪定を予定しているそうですので、来年の開花が楽しみです。よろしくお願いいたします。

**○石山 美恵子委員**

中川原コミュニティ公園の観桜会ですが、ライトアップの期間が4月20日から5月3日までとなっております。桜が散った後でも5月3日まではライトアップを実施するのですか。

**○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）**

ライトアップについては、早い段階から準備しておりましたので点灯期間に余裕をもって設定しておりました。先ほど説明させていただいたとおり、神岡地域のお知らせ版にもこの期間でライトアップを周知しておりますが、桜の開花状況によっては予定よりも早くライトアップを終了いたしますので、ご了承いただきたいと思います。

**○会長**

この他に皆さんから質問等はございませんか。なければ承認ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

**○会長**

ありがとうございました。Ⅰ型事業の協議は以上とします。続いて、次第の7. その他に入ります。はじめに「平成28年度 神岡支所主要事業の概要」について、事務局から説明をお願いします。

**○伊藤支所長**

【平成28年度 神岡支所主要事業の概要について、資料No. 3 に基づき説明】

**○会長**

ありがとうございました。では、ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はいかがでしょうか。

**○齊藤 功委員**

道の駅「かみおか」の20周年記念イベントについてですが、資料にモニュメント・観光案内板・外構工事の工事費について記載されております。先ほど説明いただいたI型の「道の駅かみおか」観光案内看板修繕事業と内容が重複する印象がありますがいかがでしょうか。

**○市民サービス課長**

これは、道の駅「かみおか」が完成した当時、モニュメント・観光案内板・外構工事で工事費が20,847千円掛かったという過去の実績額です。道の駅が完成した当時の概要になります。

**○会長**

他に質問はありますか。なければ続いて、「がんばる集落応援事業」について、事務局から説明をお願いします。

**○高橋まちづくり課長**

【がんばる集落応援事業の概要について、資料No. 4に基づき説明】

**○会長**

ありがとうございました。では、ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はいかがでしょうか。続いて、「だいせんまちづくり基本条例」について、説明をお願いします。

**○事務局（地域活性化推進室 富樫副主幹）**

【だいせんまちづくり基本条例の概要について、配布したパンフレットに基づき説明】

**○会長**

ありがとうございます。この件については、地域協議会でも何回か取り上げておりますし、研修会等でも説明を受けております。これに関して皆さんからご意見・ご質問等はいかがでしょうか。

ないようですので、「だいせんまちづくり基本条例」については、以上といたします。

他に事務局から何かありますか。委員の皆さんからは何かございますか。

ないようですので、本日の協議はすべて終了しましたので、これをもちまして第1回の地域協議会を閉じさせていただきます。大変お疲れ様でした。

**○市民サービス課長**

以上をもちまして、平成28年度第1回地域協議会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

(16時50分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

佐々木 康 浩

---

鈴 木 幸 一

---